

すももの郷通信

落合小
学校通信
No. 16
2022,12,22
発行 宮崎

2学期終了、本日終業式 冬休みへ GO！！

本日2学期終業式をむかえました。1年で一番長い学期が終わりになります。2学期は、大きな行事「運動会」「文化発表会」を軸に、各学年の行事に精力的に取り組んできました。その中で子どもたちは、「みんなで力を合わせ、一生懸命に行うことの大切さと喜び」を学ぶことができました。これから生きる子どもたちの土台となるよう、まさに根っこを育てているのだと考えています。また、一時の華やかさや目を引くことをすることだけが子どもの力ではありません。日常生活の中で、きちんと返事ができる、あいさつができる、掃除や手伝いができるなどのことが実はとても大切なのです。人・もの・ことに向き合う姿勢を、心構えを育てることが大事です。学びに向かう姿勢をきちんとつくる事こそが、小学校教育の基本の「き」であると思います。2学期を振り返り、子どもたちの豊かな成長を感じるとともに、前述のことをさらに高めたいと感じました。物事に取り組む心構えも含めて「よりよい自分を創る」姿勢を更に伸ばしていきたいと思います。

2学期間のご支援とご協力、誠にありがとうございました。



児童会役員選挙終わる



12月16日(金)に立会演説会・投開票が行われました。各候補者が落合小学校をより良くするための思いを話し、責任者は如何に児童会役員にふさわしいかを伝えました。どの子ども堂々とした立派な演説でした。勇気をもって立候補し、落合小学校をより良くしようという強い思いをもった7人の立候補者と精一杯に友達を応援できた7人の責任者を褒めたたえたいと思います。選挙管理委員のスムーズな運営のもと、素晴らしい演説会となりました。

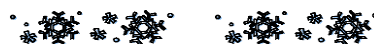


投票の結果、次のように決まりました。

会長 川崎 なの穂 さん
6年副会長 渡部 奏 さん
5年副会長 中村 心咲 さん



落合子どもフェスティバル開催！！

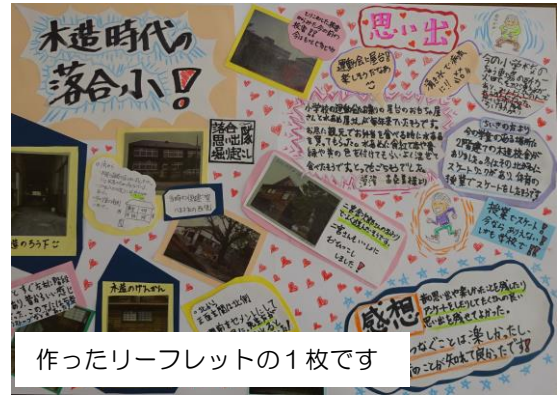


児童会行事「落合子どもフェスティバル」が12月20日(火)に開催されました。6年生が特別教室や体育館にゲームブースを準備し、1～5年生が縦割り班ごとに各ブースをまわって楽しみました。「みんなが楽しんでくれるように」という6年生の思いが工夫として各所にあり、全校みんなで仲良く素敵な時間を過ごすことができました。



『落合思い出掘り起こし隊』 ～4年生の学習の様子から～

4年生は2学期の国語科、社会科、総合的な学習の時間に教科横断的な学習として、『落合思い出掘り起こし隊』と名付けて一連の学習に取り組みました。社会科の「伝統工芸のよさを伝えよう」をきっかけとして、総合的な学習の時間に落合地区の古き良き思い出を取材しました。取材したことを、国語科で学習した要点を見つけ要約する力を発揮してリーフレット(12枚)にまとめました。「こんなに情報が集まって驚いた」「思い出を自分たちがつないでいくことが楽しかった」「昔は今と違ってすごいと思うことがたくさんあった」など、取材し、情報を収集整理していく中で、子どもたちは人々の思いや願いが溢れた落合地区のよさを再認識したようです。



地域の皆様方からもたくさんの貴重な情報をいただきました。ありがとうございました。

無関心ではられない 子どものネット依存

ゲーム機、ケータイ・スマートフォンなど手放せない! そんな子どもたちが身近にいませんか。度の過ぎた利用は、ネット依存につながる可能性があります。

インターネットいわゆるネットは、大人にも子どもたちにとっても欠かせない生活の一部になっています。無料通話アプリ(LINE等)、動画サイト、SNS、Youtube、facebook、twitter、Instagram、チャット、ブログ、オンラインゲーム、各種アプリなど加速度的に発展しています。使いこなせることも現代社会を生き抜くには必要な知識・技能となっています。

しかし、ネットの利用にはまり、心身や生活に支障をきたす大人や子どもが増加中なのです。睡眠障害、遅刻・欠席・不登校・出社拒否、友人とのトラブル・ネットいじめ、学業成績低下、営業成績低下、ひきこもり、金銭問題、社会生活への不適應症状、現実を受け止められないなどなど大人から子どもまで心身共に蝕まれている事例がたくさんあります。

子どもたちをネット依存やネットから発生するトラブルに巻き込まれないように、また相應しくない使い方をしないように指導していくのは大人のつとめです。まずは、子どものネット利用について「子ども任せ」にしないことが大事です。子どもが安心安全にネット利用をするためには、保護者によるペアレンタル・コントロール(保護者による管理と見守り)が必要です。【有害情報対策】に加えて【ネット依存対策】も手を打たなくてはなりません。フィルタリング(有害情報サイト閲覧利用制限)は、ペアレンタル・コントロールの第一歩です。しかし、子どものネット利用で発生する課金、料金問題や長時間利用、SNSによるいじめ、ネット利用による心の変容、ネット犯罪、ネット依存の予防は、フィルタリングだけでは防ぐことができません。わが子をネット依存にさせないためには、子どものネット利用の状況や内容を把握したり、時間制限をしたりする必要があります。親のコントロール下に置くことがまず大事です。

家庭で子どもと話し合いルールを作りましょう。ルール作り例(スマートフォンの場合)

1 注意・約束 2 見守り 3 指導をしていくのが親のつとめです。

※ネット利用で発生するリスクを保護者が子どもに説明。ルール作り。

※子どものネット利用を見守り、ルールを守っているか確認。

※注意や指導をする。ルールを守れないときの約束。ルールの見直しも。

○ネットに個人情報(自分の情報も他人の情報も)を載せない。特に写真や住所などあげない。 ○パスワードは保護者が知っておく。

○人を傷つけることや悪意ある書き込みや相應しくない活用をしない。

○わからないこと、困ったことは保護者に聞く。

○スマートフォンに依存した生活をしない。○利用時間の制限をする。

ネットの光と影は確実に私たちの身の回りに存在します。ネットの闇に心奪われないで!

